

10万人の
ギャラリー



内閣府が募集した「障害者週間ポスター」に応募し、総理大臣賞に輝いた西中学校3年山中香里さんの作品を紹介します。



山中香里さんの「障害者週間ポスター」

山中さんは、12月6日東京で行われた表彰式で野田聖子大臣から賞状や盾を授与されました。自らの体験をポスターにして人々に訴えた、力のある優れた作品と評価されました。山中さんは、物を観察して描くことが得意な美術部員です。この作品は1日3時間、1週間かけて描き上げました。描くにあたり、実際に車椅子に乗ってみると、少しのマットの段差でも車椅子が動かなくなるという体験をしました。そこで、「障害物を取りのぞけ」をテーマに、思い切った構図で強調したそうです。

「将来は介護福祉士になりたい。自分の得意とする、物を見て描くことを福祉に役に立てたい」と話していました。

作品介绍 124

川上澄生の世界

小さな画面に描かれた懐中時計と砂時計。背景にはテーブルクロスを思わせる横線が彫られています。全体は淡いブルーと薄茶色で配色され、かわいらしくて、レトロな印象を与えています。

彫り方に注目すると、懐中時計の数字や針の細かさに驚かされます。



澄生の繊細な技術の高さがうかがい知れます。

澄生はたびたび煙管や時計、玩具などを版画の画題に選んでおり、それらは澄生にとって身近で愛着のあるものばかりです。作品に描かれている懐中時計と砂時計も、たびたび他の作品に登場しています。

画面を見ながら耳を澄ますと、さらさらと流れる砂の音、カチカチと鳴る秒針の音が聞こえてくるようです。作品を見てゆったりとした時間の流れを感じてみるのはいかがでしょうか。

学芸員 原田敏行

「時計」

1932年(昭和7年)

木版多色刷 紙

(画面寸法 縦110cm×横139cm)

「1階展示ホール」

2月5日(木)～4月5日(日)まで、これまでの木版画大賞Ⅱ 第8回「第10回」展を開催します。

※2月3日(火)、4日(水)は展示替えのため、2階のみ開館します。

川上澄生美術館からのお知らせ

問い合わせ ☎028272

「2階展示ホール」

市制60周年記念「澄生が愛したもの 煙管・時計・玩具」展を4月5日(日)まで開催しています。

「ミーティングルーム」

2月5日(木)～4月5日(日)まで、「川上澄生 小企画Ⅱ」展を開催します。